



鶴 鳴

学校教育目標「誇り高く」昔も 今も これからも

令和8年度 鶴舞小学校 学校報

第15号 令和8年10月22日

「凡事徹底」で学ぶ習慣を！

～力を付ける家庭学習となっていますか？～

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋など、秋にはさまざまな呼び名があります。今回は、「勉強の秋・・・家庭学習」に焦点を当てたいと思います。

学校では、授業を通して「わかった」「できた」を積み重ねる学習を進めています。しかし、本当の学力を身に付けるためには、学校だけでなく家庭での学習も大切です。家庭学習は、学校で学んだことを確かな力にするための大切な取組であり、家庭と学校をつなぐ「学びの連続」でもあります。

一方で、子どもたちの家庭学習ノートを見ると、毎日同じ内容を繰り返していたり、簡単な問題だけに取り組んでいたりと、自分の力をさらに伸ばす学習につながりにくいものも見受けられます。家庭学習は、「宿題が出たから仕方なくやるもの」ではありません。自分で課題を見つけ、自分で学習内容を選び、自分で考えて取り組むことに大きな価値があります。苦手な漢字を練習する、計算問題に挑戦する、授業で疑問に思ったことを調べる、興味をもったことをまとめるなど、自分に合った学習を積み重ねることが確かな力となっていきます。

保護者の皆様にも、ぜひお子さんの家庭学習に関心を寄せていただきたいと思います。「今日は何を勉強したの？」「どんなことがわかったの？」と一言声を掛けていただくだけでも、子どもたちの学ぶ意欲は高まります。

小学生の時期に身に付けた学習習慣は、その後の学びの土台となります。毎日の積み重ねは決して無駄になりません。子どもたち一人一人が主体的に学ぶ力を伸ばせるよう、ご家庭と学校が力を合わせて支えていきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

小中合同あいさつ運動

旧鶴舞小、尾崎小でも小中合同あいさつ運動を行ってきました。統合により、本荘南中学校と場所が少し離れてしまったので、今年度からは、中学生と一緒にではなく、中学校と日にちを合わせて各学校であいさつ運動をすることになりました。基本的に毎月1日と15日になります。

10月15日（木）は、民生児童委員の皆様や警察署の方々もあいさつ運動に参加してくださいました。民生児童委員の皆さんは、「子どもたちがあいさつを返してくれると、こちらが元気をもらいます。」とおっしゃっていました。子どもたちの明るい声は、地域を活性化させるものと期待します。

15日は、なまはげさんの登場に少し驚いた子どももいましたが、元気にあいさつができたようでした。あいさつは心と心をつなぐ架け橋だと思います。今後もさわやかにあいさつを交わし合える学校を目指していきたいです。



8人の皆さんが、県大会に選出されました。大変うれしいことです。